

編集後記

山梨肺癌研究会誌、第22巻をお届けします。内容は平成20年11月1日に開催された第38回研究会での発表を論文として編集したものです。

今回は奥脇が当番世話人を務めました。前回の宮澤先生に引き続き外科が担当することになりましたので、テーマについてはあまり外科手技的な狭い話にならないようにと考えまして比較的最近になり行われるようになってきた「肺癌術後補助療法」としました。

一般演題は12題でその内4題はテーマに沿ったものでした。今回のテーマに照らして県内で肺癌手術が比較的多く行われている4施設（大学、県立中央、市立甲府、厚生）にそれぞれの施設の現状を発表してもらいました。貴重な情報交換の場になったと思います。

特別講演には私ども第二外科の非常勤講師としても以前よりお世話になっております新潟県立がんセンター新潟病院の小池輝明先生にお越しいただき、ご自身が中心的な役割を果たされているJCOG肺癌外科グループの臨床試験のお話や新潟がんセンターでの術後補助療法の現状、今後の展望等につきご講演いただきました。

振り返ってみますと山梨肺癌研究会は1988年11月26日に千葉成宏先生の当番世話人の下、53名の参加を得て発足しました。以来20年余にわたり会員の皆様の協力を得て本研究会が山梨県の肺癌診療ひいては癌診療全体に果たしてきた役割は小さくないと自負しております。医療を取り巻く環境は依然として厳しく先行きが不透明ではありますが、研究会事務局を預かる者として今後も先輩から引き継いだ大役を果たすべく微力を尽くしたいと思います。今回巻頭言と編集後記の両方を書くにあたり感慨を新たにしました。

次回研究会は山梨県立中央病院病理科、小山敏雄先生の当番世話人で11月28日（土）の開催を予定しております。次回も多数の演題の応募をお待ちしております。

《事務局 奥脇英人》

山梨肺癌研究会会誌 22巻
平成21年4月1日 発行
編集・発行 山梨肺癌研究会
事務局 〒409-3898
山梨県中央市下河東1110
山梨大学医学部 第二外科教室内
TEL 055-273-9682
印刷所 博友社印刷
〒400-0016 甲府市武田2-1-2
TEL 055-253-0470

<http://u-go.to/yslc2>

e-mail: haigan@med.yamanashi.ac.jp

J-Medicine、医学中央雑誌、山梨大学図書館ホームページ 全巻全文収載